安祥中学校

歴史大賞

# 大浜騒動

## ＝動機＝

安祥中学校 3年 大見 亮介

国宝である興福寺の五重塔が明治初期に売りに出された事があると知り、廃仏毀釈に興味を持ったので、自分の住んでいる地域で起きた大浜騒動という事柄を調べようと思ったからです。

## ＝大浜騒動とは＝

明治4年（1871年）に三河国、碧海郡南部の鷲塚村（現在の碧南市）で起った騒動で、菊間藩大浜出張所(1)の宗教政策に反対する浄土真宗（以下、真宗）の僧(2)、門徒が引き起し暴動に発展、役人一人が殺害された。結果、出張所は寺院廃合の方針を改めたが、中心となった石川台嶺(3)の他、多くの僧、門徒が処罰された。鷲塚騒動、菊間藩事件とも称される。

## ＝関連する人物や団体＝

(1) 菊間藩大浜出張所

碧海郡に16ヶ村、幡豆郡に5ヶ村、計21ヶ村は、大浜領と呼ばれ、明和5年（1768年）に水野氏が陣屋（出張所の前身）を構え、沼津、菊間（現市原市）に移っても、明治まで領地だった。

(2) 三河護法会

明治元年（1868年）京都で護法場が設置され、仏教改革の声があがり、三河でもこれに呼応して三河護会が結成された。総監は、高取村（現在の高浜市）の専修坊星川法沢、幹事は小川村（現在の安城市）の蓮泉寺石川台嶺だった。また、他にも多くの僧が参加していた。

(3) 石川台嶺

石川台嶺は幡豆郡室村（現在の西尾市）で誕生。後に蓮泉寺石川氏の養子となった。台嶺は学問が好きで、年が20歳に満たないころから、高倉の学寮に席を懸け、専ら宗学を研究していたとされる。また、特に護法の思いは深く、三河護法会の結成にも関った（高倉の学寮とは、大谷大学の前身）

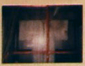
課題1 なぜ台嶺は、暴動を起こすことになったのだろう
～騒動までの軌跡から探る～

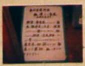
## ＝台嶺の軌跡＝

| 元号 | 西暦 | |
|---|---|---|
| 天保14年 | 1843 | 台嶺生まれる（順成寺） |
| 慶応2年 | 1866 | 台嶺23歳で蓮泉寺石川氏の養子となる。 |
| 明治元年 | 1868 | 高倉の学寮に護法場が設置される。仏教改革を目指しており、台嶺も参加していたと見られる。 |
| 明治2年 | 1869 | 三河に護法会が出来る。台嶺も結成に関わる。 |
| 明治4年 | 1871 | 大浜騒動の首謀者とされ斬罪に処される。 |

台嶺は、才学に秀でており高倉の学寮で宗学の研究し、秀才の名を博したとされる。

台嶺が護法場で学んだことが、三河での台嶺の行動に非常に影響していると思われる。





## ＝分かったこと＝

台嶺は、騒動前までに、非常に強い護法意識を持ち、考えるだけで無く、仏教改革やキリスト政対策の様な形で実践しようとした。

## ＝騒動早見表＝

課題2 どんな騒動だったのか
～騒動早見表から探る～

| 明治 | 西暦 | 月 | 日 | |
|---|---|---|---|---|
| 4年 | 1871 | 2 | 15 | 大浜出張所が管内の寺院に出頭を命じ、寺院廃合に関する下問を行う。<br>真宗寺院は死活問題であるとして、藩に関りのある棚尾村光輪寺、大浜村西方寺（両村とも現在の碧南市）が請書提出の日延べを願うも、許されず、この2寺が独断で請書を提出してしまった。 |
| | | 3 | 8 | 暮戸会所において会合を開き、100名近くの僧侶が集まる。 |
| | | 3 | 9 | 集まった僧侶の中で有志の者、37名が血誓し、2寺を詰問するため大浜へ向う。<br>登中、大勢の門徒が同行を申し出る。<br>三河三ヶ寺が解散をうながすが聞き入れられなかった。<br>台嶺は、米津村（現在の西尾市）龍讃寺において集合した門徒達に、粗暴の無い様、説諭する。<br>鷲塚の庄屋宅で出張所方と交渉するが日没になってもまとまらず門徒が暴徒化。役人を殺害。藩兵に鎮圧される。 |

下問は、全て寺院側に可否を問うもので、決して強烈なものでは無かったが、真宗寺院が回答を渋ったため、出張所は、強圧的に請書の提出を求めた。

光輪寺と西方寺の行動は、管外寺院の反感を買い、石川台嶺は同志と図って、暮戸において会合を開き、問題の2寺を詰問しようとするが2寺は出席しなかった。

集まった僧侶も一枚岩で無く、大浜へ出向くことに反対を唱える者も居たが、台嶺らは聞きいれず、大浜へ向かった。

門徒達は、キリスト教徒を退治に行くつもりで集まって来た。

台嶺が門徒に説諭した寺の竹林は、門徒達によって竹槍にされてしまった。

門徒達は村の者から振るまわれた酒や肴を食べており、高ぶった門徒が、庄屋宅を襲撃した。

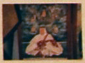
## ＝分かったこと＝

台嶺は、護法の念が深かったので光輪寺や西方寺の行なったことが許せず、仏教を守るため急進的な行動に訴えてしまった。しかし、門徒達のかるはずみな行動によって、人が死ぬと言う結果を生み出し、大罪人となってしまった。

## ＝石川台嶺の評価＝

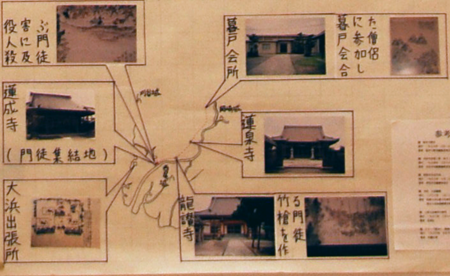
課題3 台嶺の行ったことは、どう評価されているのか

騒動直後、台嶺を殉教者と見るか暴徒と見るかで教団内の意見が割れていたが、結局、東本願寺に傷が付くことを恐れる力が強かったため、台嶺はかばってすらもらえ無いまま斬罪に処された。東本願寺は明治16年、台嶺に似影と法号を送り、明治22年の憲法発布により、大赦が行なわれ、関係者の罪名が消滅し、台嶺は初めて、本山から護法扶宗者として待偶され、今も蓮泉寺において殉教者として祭られている。



## ＝自分の考え＝

僕が、この騒動を通して考えることは、大浜出張所の行なった諸改革が急激で、僧侶や門徒達に不信感を抱かせる結果になったのも事実だと思う。しかし、台嶺の側にも落ち度があったと思う。それは出張所方との交渉で台嶺達が提示した要求の中に「宗判の儀は在来の通りの事」との要求があった事で、統治制度そのものが変わりつつある時に寺請制度の継承を求めては、交渉がまとまるはずが無いと思うし、それは護法では無くて、既得権益の保護を訴えていると思わざるを得ない。僕が思うに台嶺は、本当に護法に燃えていたと思うが、彼の周りの僧全員が台嶺の様な者だったとは思え無い。僧侶がその様な私利私欲のために行動するのは、良く無いと思うし、その結果人が死んでいるのだから、僕は、そちらの方に強く反感を感じる。



参考文献